新品種・新技術の確立 支援事業 取組概要 (H30~H31)

『 中山間地のエゴマ導入・定着に向けた生産技術の確立への取り組み 』

=三重県=

【全体概要】

中山間地の農地を守るために、大台町ではエゴマの栽培振興に取り組んでいる。エゴマは獣害に強く、また健康志向から高付加価値 化が見込める作物として、平成27年度からJA女性部生産者グループ「奥伊勢えごま倶楽部」会員が中心となり栽培を開始し、平成29年 度には、地域内に新たな搾油施設を整備、生産から搾油、販売に至る6次産業化に向けての取り組みを進めている。今後、中山間地農 業のモデルとして、栽培技術向上により農業生産の安定化とブランドカ向上を図り、農業経営安定による取り組み継続へと繋げる。

新品種・新技術等の概要

実需者からは、生産量の増大を強く求 められている。

しかし、中山間地の限られた耕地面積 での栽培であり、急速な栽培面積の拡 大が困難であるため、単収の向上が早 急に必要である。

単収向上の手段として、摘芯技術につ いて、当地での環境に適応し、安定的に 増収できる技術の確立を目指す。

本事業により、エゴマの摘芯増収技術 について、産地・実需者のニーズを反映 した技術を確立し、産地に導入する。

H30年度 実証圃の様子

上 摘芯時期の生育と、摘芯作業

下 収穫期

主な取組内容

- 〇 栽培実証圃を設置し、以下の把握に努めた。
- 摘芯の有無による、生育(草高、花数)差の把握。 収穫時期と、収量差の把握。
- 〇上記実証圃調査結果を、作成した栽培マニュアルに反映した。
- 〇実需者(JA及びJA系列直売所)と連携した、販路拡大をお こなった。

実施体制図

【実需者:県内流通業者】

- 各種検討会への参加
- ・販売方針の提示
- •情報共有 • 協力関係



【松阪地域農業改良普及センター】

- 事業実施計画の策定・進行管理
- 各種検討会の開催
- 関係機関との調整
- 情報共有 協力関係



【大台町】

- 各種検討会への参加
- ・特産品化への協力
- 農地の利用調整

課題と今後の対応

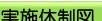
【実績】

・摘芯により草丈は変わらないが、花序数は増え、 花序数(右写真赤丸)が増えることで株当たりの 結実量が増えることが確認できた。

【今後の課題・展開】

- 花序数を最大限増やすための摘芯時期や 摘芯強度を次年度検討する。
- 青枯病が多発拡大しており、防除対策検討の ための実証圃を設置する。
- ・品質安定のため、優良更新種子確保が求めら れており、採種試験圃を設置し課題を整理する。





【生産者: 奥伊勢エゴマ倶楽部】

- ·実証試験管理
- 試験データの提供



- 実証圃管理
- 連機

【農業・畜産研究所】 試験設計に関する助言 各種検討会への参加

